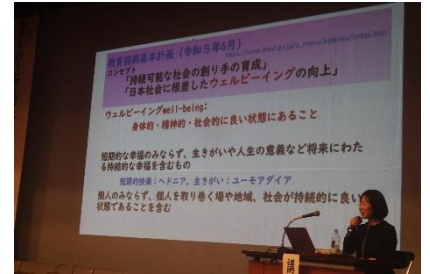


第53回県公立小学校教頭会研究大会について

11月12日(火)に宮若市宮田文化センターにおいて第53回福岡県公立小学校教頭会兼北九州地区小学校教頭会研究大会を行いました。第13期全国統一テーマ「未来を切り拓く力を育む魅力ある学校づくり」をもとに、筑豊地区より「地域との連携における教頭の関わり」、北九州地区より「教育課程の編成・実施に向けた教頭の関わり」、京築地区より「組織を活性化し教職員の資質・能力を高める教頭の関わり」について研究報告を行いました。また、この3つの実践について、福岡県教育庁教育振興部義務教育課 原クミ 主任指導主事より講評を頂きました。続く講話では、大阪教育大学教授 田村知子様より「子どもと教師のウェルビーイングを実現するカリキュラム・マネジメント」と題してお話をして頂きました。5年振りとなる参集型の研究大会の開催となり、たくさんの副校長・教頭先生が一堂に会する活気あふれる実り多い研究大会になりました。



全国公立学校教頭会第2回研究部長会について

12月6日(金)に、東京都都市センターホテルで、第2回全国研究部長会が開催されました。まず、開会行事の中で、①第66回高知大会の成果と課題②ブロック大会の成果と課題について③第67回茨城大会について④中央研修大会についての4つの事項について報告がありました。次に、愛媛大学大学院 教授 露口 健司氏を講師としてお招きし、「働きやすさ」と「働きがい」の両立を目指す副校長・教頭としての組織マネジメントの在り方」という演題で講演が行われました。「教職の幸福論」ということで、ウェルビーイングの観点をもとに話を進められました。幸福感には様々な形がありどれも教師にとって重要だが、現場の先生方のアンケートを見ていくと、「信頼関係」が幸せに強く結びついている、特に「同僚からの信頼」が実感できている先生ほど幸福度が高いというデータが出ている。ということをもとに、業務削減が必ずしも教師の幸福感に結びついているわけではない。幸福感を奪う業務削減はウェルビーイングにはならない。という指摘がありました。その後のグループ協議も各校の実態をもとにした「働き方改革」についての話でしたが、全国の状況も同じ傾向があることがわかり大変参考になりました。

全国公立学校教頭会第2回理事会について

12月13日(金)に、オンライン開催にて、第2回全国理事会が開催されました。

第2回理事会では、まず報告事項として、①全公教活動経過報告(9月～12月での活動)②ブロック経過報告(北海道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、東海北陸ブロック、近畿ブロック、中国ブロック※四国・九州ブロックについては特になし)③専門部活動報告(総務・調査部、研究部、広報部より)④教育関係23団体全国集会の4つの事項について報告がありました。

次に、報告・協議事項として、①令和6年度中央研修大会(2/7 基調講演「ウェルビーイングの視点から学校教育を問う。(仮)」シンポジウムテーマ「ウェルビーイングの構築に向けた学校の役割について(仮)」～働きがいのある魅力ある学校づくりと教頭のエージェンシー発揮～(仮))②全国研究大会について(第66回全公教研究大会高知大会：報告)(第67回全公教研究大会茨城大会：予告)③第14期全国研究大会オンライン配信業務委託(委託会社：早稲田大学アカデミックソリューション)について④全公教会計の適正化に向けて(会員の負担軽減：負担金(会費)拠出金(入会金)の減額)の提案があり、承認されました。

最後にその他の事項として、①「全国公立学校教頭会顧問会規程(一部改正)」②全公教研究について(第14期統一研究主題)③令和7年度の全公教活動(令和7年度の主要行事日程)について説明が行われました。